

GTC

一般社団法人

ぐんま探究コンソーシアム

gunma tankyu consortium

ぐんま探究コンソーシアム 創立1周年記念イベント

2026.2.14 《土》

@共愛学園前橋国際大学

5号館5101

本日の流れ

1. 13:00~13:05 代表挨拶
2. 13:05~13:50 これまでの取り組み・これからの取り組み
～休憩～
3. 14:00~14:50 対話セッション
テーマ「ぐんまの中高生の学びを、それぞれの立場からどう支えていくか」
「ぐんまの探究学習のハブとしてGTCに期待すること」
4. 14:50~15:00 事務連絡・閉会
5. 15:00~16:00 フリー交流会



1. 高等学校教育改革促進基金の創設～N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクール構想～ 2,955億円

※N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクールとは、New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools の略である。

① 産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業 2,950億円

支援対象等 ①都道府県 ②民間

課題

2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足、いわゆる理系人材の不足が懸念されることとなり、産業イノベーション人材の育成が重要。また、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化（2040年には高校1年生が約36%減少）、現状でも約64%の市区町村において公立高校の立地が0又は1であることなどを踏まえ、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保が重要。

各都道府県に基金を設置し、類型に応じた高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等 育成支援

技術革新のスピードが加速する時代に適した課題解決能力の獲得に向け、探究的・実践的な学びの積み重ねや深まりのある学びを実現

学ぶ意欲のある高校生が、家庭の経済状況に左右されることなく、学習習慣の定着、学習時間の増加、学びへ向かう姿勢の確立できるよう、放課後等を活用し、学校と地域の連携による学力向上・学習支援のための取組、探究活動の深化による多様な進路に向けた支援を行う。

(取組内容例)

学科・コースの再編、学校設定科目の新設、高等教育機関・地域・産業界と連携、外部人材の登用、グローバル人材育成に向けた留学の派遣・受入に係る環境構築、遠隔授業 等

理数系人材育成支援

理数的素養を身に付けつつ、自ら問を立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現

多様な学習ニーズに対応した 教育機会の確保

人口減少地域に、魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を活かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現

② 高等学校教育改革加速に係る伴走支援事業 5億円

改革先導拠点の着実な実施にあたり、都道府県の進捗の確認・評価を行うとともに、類型ごとに、ノウハウの共有・専門家による支援を実施

2. 高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール) 52億円

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携などを通じてICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援

支援対象等 公立・私立の高等学校等

- 新規採択校 : 100校程度 × 1,000万円
- 継続校 : 200校程度 × 500万円 (重点類型の場合700万円) 【2年目】 ※必須要件に加えて、各類型ごとの取組を重点的に実施する学校を重点類型として補助上限額を加算
- 1,000校程度 × 300万円 (重点類型の場合500万円) 【3年目】

3. 国際交流・留学プログラム構築推進事業 2億円

各高校等において、育成を目指す人材像を踏まえた実施計画を策定し、海外の高校等との協定等による国際交流・留学を含む教育プログラムの開発や、留学支援体制構築に一体的に取り組む高校等を重点的に支援。

グローバル人材育成に向けた環境構築に係る経費を支援

支援対象等 私立の高等学校等

(担当：初等中等教育局参事官(高等学校担当)付、総合教育政策局国際教育課)

第4期 群馬県教育振興基本計画
2024年4月～2029年3月

群馬県教育ビジョン

自分で考えて、
自分で決めて、
自分で動き出す



群馬県教育ビジョン 「最上位目標」

自分とみんなの**ウェルビーイング**が
重なり合い、高め合う共生社会へ向けて

—ひとりひとりが**エージェンシー**を発揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける
「自律した学習者」の育成—

目的

中学校・高等学校・大学と地域を支える企業・官公庁が連携し、「ぐんまの子どもたちをぐんまの皆で育てるプラットフォーム」を構築することを目的とする。

これにより、ぐんまの子どもたちが自ら課題を設定し、その解決に取り組むことで、主体的に社会をより良く変えていこうとする力を育むことを目指す。

これまでの取り組み

- 2025.1.30(木) キックオフイベント@新島学園短期大学
参加者・中高大社官関係者77名
- 2025.3.25(火) 『第3回高校生探究サミット』@共愛学園前橋国際大学
各校における探究活動の情報交換発表会
- 2025.7.31(木) 『第4回高校生探究サミット』@太田市議会議場
各校における探究活動の情報交換発表会
- 2025.10.8(金) ぐんま探究コンソーシアムメーリングリスト開設
(GTCML) WEBページにて情報発信環境の整備
- 2025.12.1(月) 一般社団法人化
- 2025.12.6(土) 高校生探究EXPO実行委員会支援
GIA (群馬イノベーションアワード@前橋グリーンドーム)
- 2026.2.14(土) **ぐんま探究コンソーシアム創立一周年記念イベント**
@共愛学園前橋国際大学
- 2026.2.21(土) **第18回MIRA-GEぐんま～リーダー養成研修会～**
@共愛学園前橋国際大学

設立のきっかけ

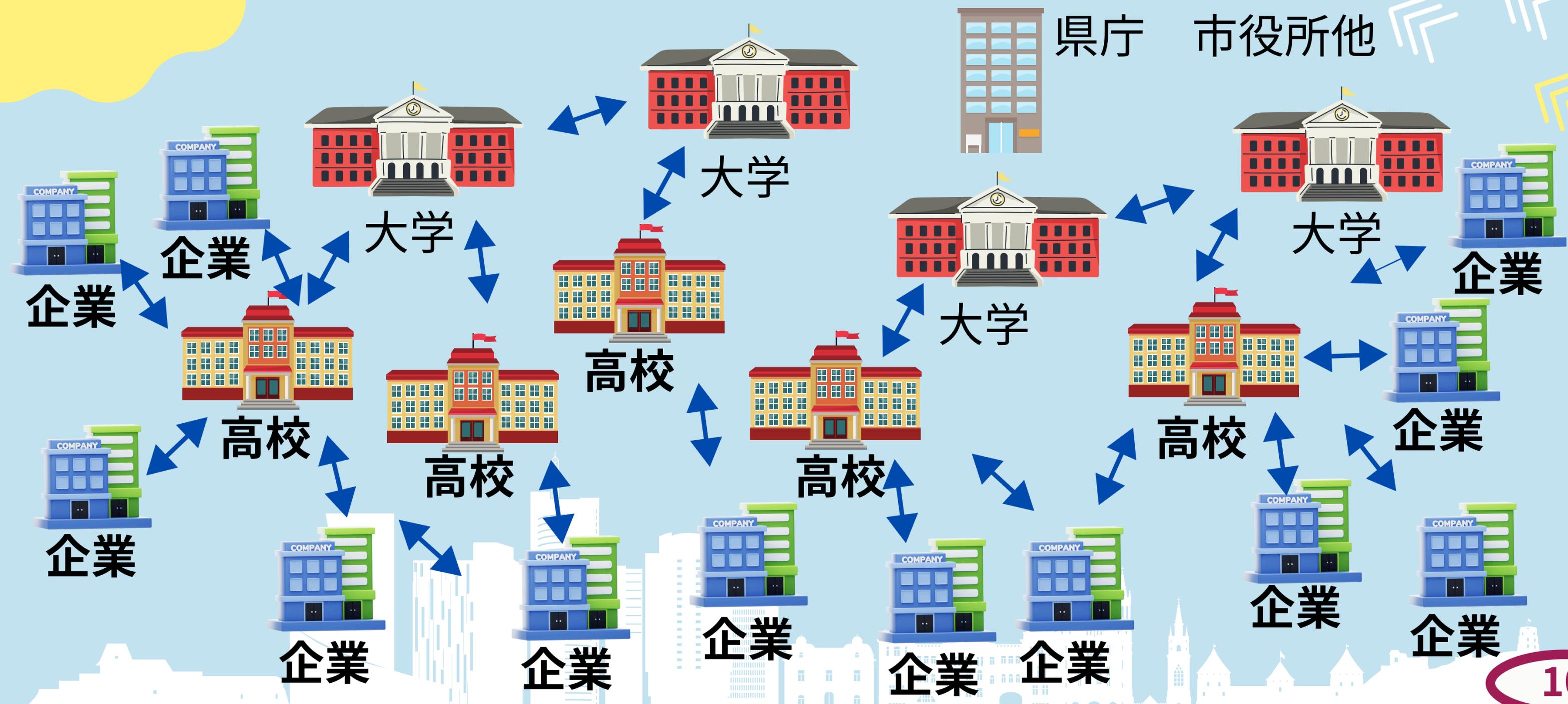
- 現行の学習指導要領で「総合的な探究の時間」必修化
- 高校生が群馬県から首都圏に流出している。
- ぐんまの高校生がぐんまの企業のことを知らない。
- 高校生の在り方・生き方を考える探究活動の充実
 - × ぐんまの企業を知ってほしいという思い
 - 「探究型インターンシップ」の実施
 - 学校と地域と行政の連携が必要
 - 「ぐんま探究コンソーシアム」の誕生

2025年
1月30日

設立にあたって、 高校、企業、大学、自治体の反応

- ・ 高校：探究的な学びの**取組に不安**を抱えている。
外部との繋がりが弱く、**外部との壁**ができている。
- ・ 企業：人材確保のため、高校生・大学生と**つながりたい**。
- ・ 大学：地元の高校生と**つながりたい**。
- ・ 自治体：県・市町村の**壁**、大学や企業との**壁がある**。

ぐんま探究コンソーシアム構想



今後、取り組みたいこと、 構想中の取り組みについて①

- ① **インターンシップ企業リスト**のデータベース化
(高校生が安心してアポができるように)
- ② **キャリア教育コーディネーター養成講座**【準備中】
- ③ 県内の**企業情報の紹介** (WEBページによる)
(高校生が企業とつながりやすくなるように)
- ④ 県内大学の**教授・研究室の紹介**
(高校生が大学の研究室等とつながりやすくなるように)
- ⑤ 県内**中高生探究部**の創設
(学校の枠を超えて生徒同士がつながりやすくなるように)

今後、取り組みたいこと、 構想中の取り組みについて②

⑥各校の探究活動紹介

(素晴らしい探究活動を進めている学校紹介)

⑦探究イベント(発表会) 情報提供

(各地域で、学校間で連携して取り組みが始まっている)

⑧探究活動支援事業

(探究活動に必要な資料の公開・共有、小規模校支援など)

⑨探究コーディネーター・アドバイザーの設置・育成

(こちらから出向いて協力・講演、探究プログラムの開発)

⑩学校と地域をつなげる活動・研究会・交流会

(地域とつながる探究を支援する。人脈・連携づくり)

今後、取り組みたいこと、 構想中の取り組みについて③

- ⑪ 将来的に、**キャリア教育コーディネーター**を採用し、仕事として活動でき仕組みをつくる。
- ⑫ 大学で（**キャリア教育コーディネーター**などの）**資格**を取りたいという大学生の支援をする。
- ⑬ **中高生と大学生の交流の場**を設ける。
（中高生の探究活動における大学生チューター制度など）
- ⑭ 探究活動に積極的な先生や社会人の**探究講演会**を開催する。
- ⑮ 子どもたちと大人が**一緒に学べる場**をつくる。
（子供だけでなく、先生も社会人も一緒に探究する。
MIRA-GE（リーダー養成研修会）の開催など）

ぐんま探究コンソーシアム構想

「ぐんま探究コンソーシアム」 OKITE(オキテ)

～時代をつくるのは少数者である～

OKITE 1 : ぐんまの子どもたちをぐんまの皆で育てる！

OKITE 2 : 来る者、拒まず！誰も否定しない！

OKITE 3 : 生徒・学生の視点で考えよう！

OKITE 4 : 今すぐやろう！まずはやってみよう！

OKITE 5 : オトナだって日々進化している。

オトナも「ともに学ぶ」気持ちで取り組む

本日の流れ

1. 13:00~13:05 代表挨拶
2. 13:05~13:50 これまでの取り組み・これからの取り組み

～休憩～

3. 14:00~14:50 対話セッション

テーマ「ぐんまの中高生の学びを、それぞれの立場からどう支えていくか」

「ぐんまの探究学習のハブとしてGTCに期待すること」

4. 14:50~15:00 事務連絡・閉会

5. 15:00~16:00 フリー交流会

～休憩～

対話セッション

テーマ

「ぐんまの中高生の学びを、
それぞれの立場からどう支えていくか」
「ぐんまの探究学習のハブとして
GTCに期待すること」

事務連絡・閉会

フリー交流会

『第18回 MIRA-GE』

未来共創型の多世代ワークショップ

普段関わりの
ない人と、
ワクワクする
未来を議論！

参加無料

会場 共愛学園前橋国際大学
(5号館)

対象 中学生・高校生
大学生・社会人

2026年
2月21日(土)

服装：自由 事前準備：不要

13:30～16:30 受付13:00～

参加申込
(大学生・社会人)



中高生は学校で先生に
申し込んでください

事前準備は不要。必要なのは「答え」のない「問い」に向き合う、気持ち

同世代だけでなく 異世代との交流

中高生・大学生・社会人が同じグループ
となり世代・地域・立場を超えて議論



実際に参加した高校生からの声

「自分と考えや発想が違う人からの
学びによって、より自分の考えが
深くなると感じた」

過去やイマではなく 未来を話し合う

高校生や企業など、研究開発・探求中の
未来へのアイデアをもとに議論



実際に参加した高校生からの声

「ありたい未来について考え、
議論することで、これからの
日本が楽しみなった」

自分の意見を伝える アウトプット機会

聞くだけのインプットだけでなく、
アウトプットの機会を提供



実際に参加した高校生からの声

「自分の思いは発言することで初めて
伝わるとわかったので、機を逃さない
ように発言したいと思った。」

主催



共催

